

No. 9

# 入善町 議会だより

発行者

富山県入善町議会

TEL 0765-72-1100

発行	入善町議会議長 長島啓太郎
編集	入善町議会だより編集委員会
印刷	田中印刷所



## 議員定数減少条例投票で可決

### 議会日誌

- ▼12月24日 新川広域圏事務組合議会  
(於 魚津市役所)
- 24日 下新川三町議会議員協議  
会設立総会  
(於 宇奈月町)
- 26日 老人慰問(一人暮らし宅)
- ▼1月12日 富山県町村議会議長会理  
事会  
(於 富山県市町村会館)
- 24日 上・中・下新川三郡町村  
議会正副議長協議会  
(於 大山町)
- ▼2月31日 議会だより編集委員会
- 2日 富山県町村議会議長会理  
事会(県当局と五十一年  
度予算について折衝)
- 6日 文教厚生委員会
- 7日 産業建設委員会
- 自16日 熊本県上益城郡益城町研  
修視察
- 至19日 富山県町村議会議長会理  
事会  
(於 富山県市町村会館)
- 25日 新川広域圏事務組合定例  
議会  
(於 魚津市役所)
- 27日 入善町議会議員全員協議  
会
- ▼3月3日 富山県町村議会議長会総  
会  
(於 富山県市町村会館)

# 昭和五十一年度総予算額

## 三十八億二千三十六万四千円を可決

### 町長の所信表明(要旨)

世界経済も、漸く最悪の状態を脱し、先進諸国を中心に回復への胎動が見られるようになったといわれております。然し今日の日本経済は、不況と物価高が同居する中であって、数多くの難問題を抱えております。

政府は昨年二月以来、四次に亘る景気対策を実施し、金利の引下げや、金融緩和などあらゆる方策を講じてまいりましたのでありますが、国内景気の盛り上がりは、今一歩迫力に欠け、尚も雇用不安が続いており、私達の周辺は未だ景気回復への兆しすら感じとれない状態におかれております。

然し政府は昭和五十一年度は経済調整の総仕上げの年であり、インフレの再燃を回避して、長期的な安定路線へつなぐ重要な年と言明しております。そしてインフレのない経済発展を目指して、国も地方も亦国民の各分野に於ても、良識と自制と協調に基づく努力を呼びかけているのであります。

我が国にとっては、経済の難問題と取りくみ乍らも、世界平和に寄与する大きな役割を背負っている



のであり、国際協調に一層の誠意と努力が望まれております。

日本国内の経済、社会文化のめまぐるしい変化の中で、政治への不信解消と不況からの脱出こそ、国民総意の願望であり、緊急事項として真剣な政府の取り組みを要求するものであります。

我々地方自治体は、国の施策の枠組の中で創意と英知を結集して、町づくり、住民福祉の向上に努めなければならぬのであり、固に期待するところ誠に大なるものがあります。私もこのような厳しい社会情勢の変遷をつぶさに判断し「きれいで、ゆたかで、生きがいの

ある町」に取り組む決意であります。

昭和五十一年度予算の編成に当って国の発表している経済見通しでは国民総生産額の伸び率、名目で一三・〇%、実質成長率で五・六%前後に達する見込みであるとしております。

このように国全体の五十一年度成長率は増加を見るものの、直接本町の財源の伸びまではつながらず、五十一年度予算は前年度の実績が根拠となることを踏まえて見ます。誠に厳しい財源難の年であり、また地方財政計画では、地方自治体の財源難の実態を考慮して、新たに地方道路譲渡と税の一部を市町村へ譲与することや、臨時市町村道整備事業債の新設或いは公共事業債の充当率の引き上げなどの措置を講じ、一面では市町村に対し一般行政経費の抑制、使用料、手数料の適正改定などを検討されたいとしております。

このような条件のもとで、五十一年度を迎えるのでありますが、町行政水準の向上と住民ニーズに最善をもって応えたいと思うものであります。特に要望の強い道路整備には町債や債務負担への依存を余儀なくされるのでありますが、許される財政構造の中で積極的に

然も幾を逸しないよう、意欲的に取り組んだのであります。

新年度予算の概要について申し上げますと、苦慮重なる財政事情のなかであくまで健全財政を貫きながら、予算の効果的配分、緊急度そして将来のビジョンを追求し、町総合計画を軸として編成したものであります。

予算規模では、一般会計三十一億二千七百万円で前年対比二・二%の伸びであります。国民健康保険特別会計では六億三千七百七十万円で一四・八%、簡易水道特別会計では一億三千七百六十万円で三・九%、武村福祉会館特別会計一千五百五十五万円で三・五%、育英奨学資金特別会計二百五十五万円で二・八%とそれぞれ伸びましたが、土地取得特別会計七百六十八万三千円、分譲宅地特別会計二千万五千円で事業の縮小によって減額といたしました。随って総合計では三十八億二千三十六万四千円となり、前年対比で一九・〇%増となるのであります。ここで本町総合計画の三つの目標に大別しますと、防災対策健康並びに生活環境の整備を目的とするきれいな町づくりには十一億四千五百九十九万九千円、道路整備地域産業の振興を内容とするゆたかな町づくりに九億二千四百八十九万九千円、社会福祉事業と教育文化の向上に充てる生きがいのある町づくりに十一億八百三十七万七千円を計上し、その他の行政費として六億四千五百四十八万九千円を見積もつ

たのであります。(中略)

以上昭和五十一年度予算編成に当っては、例年になく苦しい予算編成でございますが、基本方針であります健全財政はしっかり堅持して積極的に事業を推進して参りますことは勿論、公共料金、物価上昇の折需要費を節約し効率的な運用を図り、実行型の子算を編成した所存でございます。

- 3日 新潟県西頸城郡青海町議会より視察来町
- 9日 議員全員協議会  
第二十回入善町議会定例会開会
- 12日 本会議(第二日)
- 13日 本会議(第三日)
- 15日 産業建設常任委員会
- 16日 文教厚生常任委員会
- 17日 総務常任委員会
- 19日 第二十回入善町議会定例会開会
- 23日 富山県町村議会議長会理事會  
(於 富山県市町村会館)
- 23日 第二十八回富山県民主政治推進連盟総会  
(於 富山県庁大ホール)
- 24日 福井県坂井郡丸岡町議会より視察来町
- ▼4月
- 12日 北海道中川郡本別町議会より視察来町
- 14日 議員全員協議会  
第二十一回入善町議会臨時會

## 三月定例議会の 経過と会議の内容は 次のとおりであります。

(第一日)三月九日(火)

午後一時十分本会議を開会し、議事に先立ち十九回議会以降の議事に関する諸般の報告があり、

会議録署名議員に三賀しさい議員、浜田幸晴議員を指名し、会期を三月九日より十九日までの十一日間と決定いたしました。

次いで報告第一号寄附採納についてが上程されました。

閉会中の継続審査となつていた請願第二十二号ないし請願第二十九号及び陳情第七号を議題となし、所管の常任委員長より審査報告があり採決の結果、採択すべきものと決定されました。

昭和五十年年度入善町一般会計補正予算及び土地取得、分譲宅地の二特別会計補正予算が上程され町長より提案理由の説明が行なわれ、質疑討論がかわされ採決の結果原案通り可決されました。

次に請願十八件陳情九件が上程され、紹介議員より請願主旨の説明等が行なわれ午後三時二十七分散会しました。

(第二日)三月十二日(金)

午前十時十三分本会議を開き町政一般に対する質問が行なわれ、質問通告のあった十四人のうち、

小林議員、前田議員、金田議員、谷議員、米島議員、浜田議員、野島議員、上島議員、石川議員、本田議員の十人の議員がそれぞれ町政全般に亘って、町長に対し問題点を質し午後五時八分散会しました。

(第三日)三月十三日(土)

午前十時五分開議、十一日に引き続き鳴田議員、福沢議員、上田議員、若湯議員が一般質問に立ち、町政に対する質疑が行なわれました。

次に議案第四号ないし議案第三十二号の二十九件、請願第一号ないし請願第十八号及び陳情第一号ないし陳情第九号の二十七件について質疑が行なわれました。

請願主旨の説明及び質疑があつて本会議に上程されております全案件をそれぞれ所管の常任委員会に付託し専門的な審査を求めることになりました。審査は十八日まで終了することとし、午後一時三十九分散会しました。

(第四日)三月十九日(金)

午後一時二十二分本会議を開き、三月十三日各常任委員会に付託された議案二十九件、請願十九件、陳情九件については各常任委員長より審査結果の報告があり、続いて討論採決が行なわれ全案件は原案通り可決、請願陳情についても採択すべきものと決しました。次に同意案第一号固定資産評価審査委員会委員の選任についてが上程され、委員には金澤兼松氏が方場一致で再選されました。

次いで議員提出議案第一号入善町議会議員定数減少条例制定についてが上程され、原案通り可決されました。

続いて議員提出議案第二号昭和五十一年度政府予算の審議促進に関する意見書が提出され、日程に追加し採決の結果全員賛成をもって可決し関係機関へ要請することになりました。

以上で全案件が議了され、午後三時三十六分、第二十回入善町議会定例会を開会いたしました。



### 昭和51年度・政府予算の審議促進に関する意見書

昭和51年度政府予算審議が大巾に遅れ、年度内成立が危ぶまれるに至っていることは甚だ遺憾である。ロッキード問題も日本政治の名誉に拘るものでもあり、その全容を速やかに解明することは、国民ひとしく注目しているところですが、反面新年度予算は財政主導景気浮揚型予算であり、不況克服、雇用安定及び地方財政支援等の面から、国民、地方自治体ともにその早期成立を待望しているものである。本町に於いても、新予算による公共事業予算、その他国の財政措置に依存するところ大であり、成立が遅延した場合、予算執行上重大な支障を来たすことは必至である。

いま捜査当局が強制捜査にふみ切った段階に於て、国会はロッキード問題については、特別委員会に於て専門的、徹底的な究明を図ることとし、これと併行して予算審議を速やかに再開し、新年度予算の早期成立をはかりもって全国民の期待に応えるべきである。

以上地方自治法第99条第2項の規定にもとづいて意見書を提出します。

昭和51年3月19日

入善町議会

● 提案理由

ロッキード事件に端を発し、今や国会はその真相究明ばかりにとられ、一向に進行し得ない状態にある。国民の注視している黒い霧を払うことは勿論であります。51年度国家予算の審議の遅延は国民生活にとっても多大の影響を及ぼすことは、各位もご承知の通りであります。尚、地方自治体及び議会にとっても最重要関心事であることを認識し、政府に対し予算審議促進方を強く要請するものである。

提案理由(要旨) 上野幸一議員

二月二十七日議員総会に於て、各党議員の同意を得ました議員提出議案第一号について、提案理由の説明を申し上げます。

削減の理由といたしましては、大選挙区制(昭和三十三年)を夫以来約二十年を経過いたしました。地域の代表というよりも大衆的視野に立つて議員選出を図ることが望ましい。又緊迫する地方財政の硬直化を是正する一環として、県下の類似町村に於ては実状に合ふように地方自治法に定めている定数を減少しております。

入善町も例外ではなく、現在まで二十四人の定数で運営してまいりましたが、今期中に不幸にして二名の議員が死去されました。現在は十二人で議会運営を致して参っておりますが何ら支障もなく、誠意ある住民奉仕が望まれる時にあたり、この際各党議員と相諮り大多数の同意を得て議員提案として提出した次第であります。

本案を提案する矢先、甚だ遺憾なことは、三月七日に「町民に訴える地方自治の破壊に通ずる議員定数の削減に反対しよう」という日本社会党入善支部発行のチラシが頒布されました。このチラシの内容については全く間違つた報道がなされております。例えば定数の削減については、突然に提起され自民党の党利党略であるとか、定数の削減は即経費の節約にならなとか、或いは小教精鋭主義は住民自治に逆行するものである、と

いったその内容に於いては如何にも入善町議会には不必要な宴會や大名旅行をやっているかの如き報道がある。議員になれるのは特定の有力者や金持ちに限定される、又新人が出馬出来なくなる弊害が出てくるとか、二十四人の四は死にながるとか、二十四人の四は死にながるとか、かかる真実を全く伝えていない粉らわしい内容を発表されたことに對し唯々憤慨せざるを得ない。このことは我が入善町の善良な住民をまどわし、議

民議会制民主主義、そして住民参加の地方自治を強調しております。この住民の代表である議員の定数を減少することは、憲法の精神や地方自治の主旨に反することになると思ひます。国果に於いても人口に比例して増員している折、何故減少するのが理解に苦しむものであり、自ら地方自治を弱体化しているように思われる。

第二点は、我が入善町は他の町村と比較して人口に於いても、行政面についても、一般会計予算にしても県下でも抜きんじているこ

議會議員定数減少条例可決 24人を22人に!!

記名投票の結果、賛成二十票反対一票で原案通り可決されました

会を侮辱し、当局の権威を傷つけるものであります。

以上提出者といまして、住民サイドに立つた提案であること

を確信し、社会党入善支部の間違った報道に對し不当であることを申し上げ私の提案理由の説明といたします。

合にしても他町に比べて下廻っておりません。当町は近年人口増を来たしている折、減少する理由が見当たらない。

反対討論 福沢万次議員

第三点として地方財政の硬直化は国の責任であり、経費の節減については他に方法がある。一方少数精鋭主義とのことですが、少数必ずしも精鋭とは限らないと思ひます。

本員は時期尚早として、反対の立場で次に述べる三つの問題点について意見を申し上げます。

以上の三点を述べ今後事業の山積しているとき、入善町発展を考へますと本案は今少し慎重に検討

その第一点として三木総理は就任の際、国民と対話の時代だと言われております。憲法でも主権在

されるべきものであり、時期尚早と思ひ反対するものであります。

賛成討論 上島藤吉議員

只今福沢議員から反対意見が論ぜられましたが、無所感という立場で偏見の目で見ておられるように考へるものであります。やはり私達はこれを冷静に受け止めていかなければならないと思ひます。類似町村では殆んど削減をしているのが実状でございます。

当町も今回の改選前にも出ておりましたが、余り選挙が間近であつたので見送り、今回に至つてもおることも付け加えておきます。高魚津市に於いても住民運動として直接請求のあつたことは、皆様も記憶に新しいところであり、町民の削減に對する声のあることは事実であり、我々議員自からの姿勢を正すことが大切と思つております。

国の経済状況も低成長時代に入つたと云われている今日、自治体議員として政治に生命をかけるのは勿論、住民の意思を尊重し、これが地方政治のためプラスになると言うことを信じながら、本提案に賛成いたします。

賛成討論 野島正一議員

福沢議員より三点に亘つて反対の根拠を述べられましたが、私はこの意見には納得できません。

二名を減らすことによつて弱体化するとか、憲法自治法に照らし反すると仰言つておられますが、私はその地方自治体の特色及び実状に沿つて決定しているものであ

つて、理解出来ないものであります。高議員数一人当りの人口を比較しておられますが、入善町の議員は現在二十四人として一人当り一、一九四人と言つておられ、例えば東京都にいたしますと一万人位の議員が必要となる計算になります。又少数精鋭主義は妥當でないと言われましたが、二人削減によつて町民の意思が反映出来ない、現在数であれば町民の意向が全部反映出来る、というものでもありません。それから日本社会党入善支部の発行されたチラシに對しては、間違いを如何にも自民党の党略のように、住民に報道されたことに對し憤りをおぼえるものであります。



開票風景

## 提出された請願陳情

## 第19回定例会提出分（継続審査の分）

請願第22号	河川改修方請願（舟見地区）	採択
請願第23号	市町村社会福祉協議会の法制化並びに拡充強化に関する請願	同
請願第24号	道路舗装に関する請願（新屋地区）	同
請願第25号	町道16号線舗装に関する請願（新屋地区）	同
請願第26号	道路舗装に関する請願（小摺戸地区）	同
請願第27号	報徳地区道路の延長および改良について請願	同
請願第28号	道路舗装について請願（飯野地区）	同
請願第29号	平曾川下流の土砂除去について請願	同
陳情第7号	青島地内町農道舗装に関する陳情	同

## 第20回定例会提出分

請願第1号	農道舗装に関する請願（飯野地区）	採択
請願第2号	西中・中沢幹線農道舗装事業に関する請願	同
請願第3号	浦山新縦線早期舗装方請願	同
請願第4号	町道島北部線舗装に関する請願	同
請願第5号	神子沢地区環状線道路舗装方請願	同
請願第6号	町道八幡線未舗装地帯早期舗装方請願	同
請願第7号	道路舗装方請願（高堀・上諏訪より入善小学校線）	同
請願第8号	農村公園設置方請願（上原地区）	同
請願第9号	町道吉原4号線の舗装方請願	同
請願第10号	旧町道吉原・田中線の舗装方請願	同
請願第11号	町道吉原9号線の舗装改良方請願	同
請願第12号	吉原地区用水路の改良等に関する請願	同
請願第13号	防火水槽の設置方請願（上原地区）	同
請願第14号	町道道市・吉原縦線の舗装方請願	同
請願第15号	簡易水道新設事業に対する助成請願	同
請願第16号	モデル事業計画町新屋5号線・町新屋神林線早期舗装方請願	同
請願第17号	下山育苗センター周辺農道舗装方請願	同
請願第18号	梶山新・横山線一部舗装に関する請願	同
請願第19号	西入善駅構内地下道負担金助成方請願	同
請願第20号	農道舗装方請願（梶山地区）	同
陳情第1号	高登川災害箇所改修方陳情	同
陳情第2号	土づくり運動支援方陳情	同
陳情第3号	道路の舗装に関する陳情（青木地区）	同
陳情第4号	農村総合整備モデル事業道路の舗装箇所の変更に関する陳情	同
陳情第5号	農道田ノ又横山線舗装方陳情	同
陳情第6号	町道梶山田ノ又線舗装方陳情	同
陳情第7号	舗装整備に関する陳情（梶山地区）	同
陳情第8号	道路舗装について陳情（梶山地区）	同
陳情第9号	町道並びに農道舗装について陳情（梶山地区）	同

## 可決された議案その他

## 第20回定例会分

報告第1号	寄付採納について（寄付件数14件、現金換算2,201,300円）
議案第1号	昭和50年度入善町一般会計補正予算（第3号）
議案第2号	昭和50年度入善町土地取得特別会計補正予算（第2号）
議案第3号	昭和50年度入善町分譲宅地特別会計補正予算（第2号）
議案第4号	昭和51年度入善町一般会計予算
議案第5号	昭和51年度入善町国民健康保険特別会計予算
議案第6号	昭和51年度入善町簡易水道特別会計予算
議案第7号	昭和51年度入善町武村福祉会館特別会計予算
議案第8号	昭和51年度入善町育英奨学資金特別会計予算
議案第9号	昭和51年度入善町土地取得特別会計予算
議案第10号	昭和51年度入善町分譲宅地特別会計予算
議案第11号	入善町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について
議案第12号	入善町長等の給料その他の給与及び旅費支給条例の一部改正について
議案第13号	入善町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正について
議案第14号	入善町消防団条例の一部改正について
議案第15号	入善町フラワーセンター条例制定について
議案第16号	入善町母子医療費の助成に関する条例制定について
議案第17号	昭和51年度分固定資産税の納期の特例に関する条例制定について
議案第18号	入善町国民健康保険税条例の一部改正について
議案第19号	入善町国民健康保険条例の一部改正について
議案第20号	入善町保育所条例の一部改正について
議案第21号	入善町都市公園条例の一部改正について
議案第22号	入善町武村福祉会館条例の一部改正について
議案第23号	入善町老人憩の家条例の一部改正について
議案第24号	入善町体育施設条例の一部改正について
議案第25号	入善町中央公民館使用料条例の一部改正について
議案第26号	入善町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
議案第27号	議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部改正について
議案第28号	町道路線の認定及び廃止について
議案第29号	青年学級の開設について
議案第30号	字の区域の新設について
議案第31号	入善町外2町舟見中学校組合規約の変更について
議案第32号	入善町外2町舟見中学校組合規約の一部を変更する規約の適用に伴う財産の措置に関する約定について
同意案第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議員提出議案第1号	入善町議会議員定数減少条例制定について
議員提出議案第2号	昭和51年度政府予算の審議促進に関する意見書

# 新年度予算ならびに 町政全般について質す

3月定例会における一般質問は、12日13日の本会議に於て行なわれ、14人の議員から、財政、文教、産建問題など、町政全般について質問が行なわれました。

## 一般質問 —質問答弁の要旨—

### 予算編成に対し、 特に財源の確保をただす

小林与三雄議員

昭和五十一年度予算編成に対しては、自民党の要望と、住民の要望が盛り込まれており、敬意を表するものであります。歳入の確保が確実なのか、疑問に思うのであります。

① 今年度の歳入について、町長には、自信があるか、承りたい。  
② 人件費について、歯止めが必要ではないか、この点の見解を聞かう。

③ 公債比率の上昇について、現実の問題として、町長の確固たる信念を、お聞かせ願いたい。

町長 ① 予算の執行に對しましては、健全財政を踏まえて、積極的な予算編成をした。四〇・八%十二億七千万円の投資的経費であり、町づくりのための予算であると思う。二十一・二%の進捗率で、県下でも最も意欲的な進捗率であり、予算であると信じております。歳入の問題で、町税交付税、国庫の支出金等、一般、特定を問わず確信をもっております。税制改正により、一千四百四十万円の増、減によるもの、一千九百八

十万円、差引き、八百四十万円落ち込む、自然増が、七千七百七十万円の増となります。予算化したものは、責任と自信をもって執行します。

② 人件費の増高の歯止めについて、人事院勧告に基づくものは給与する。職員法の法違反は許さない、国と町とのラスパイラス指数は九八・七%であります。一般事務の職員は増はしない。町民一人当りの人件費負担は、この町村より低いと言ふことが云えます。

③ 公債費については、十五%、十六%を歯止めとして、これ以上絶対やらない。国がやる起債に取り組み、積極的に起債事業の先取りをしたいと思ふ。債務負担行為を含めて、現在は十二・九%で起債の確得を進め、行政水準を高め、町民の要望にむくきたい。私は十六%を歯止めとしたい。尚、誠意と責任をもって執行に当りたい。

### 黒部川開発と 高速道路について

前田勇作議員

① 我が入善町に於いて、百年の大計を立てるには、黒部川開発問題を、おいて他にないと思うのでございすが、黒部川開発と関電

との関係を問う。又、朝日電電が受本発電計画かと言われている今日、町当局に於いて、舟見山発電を造る可能性があるか伺いたい、尚、水資源確保で扇状地社会研究所の設置は、当を得た事業であると思ふ。

② 国の政策により、高速道路が建設されるが、建設工事に関して地元業者の育成をどのように考えておられるかお聞きしたい。

町長 ① 第三セクターと申しております関電、北電、電発構想は不発に終わった。又、関電は朝日電電を変更して受本発電を知事に非公式に協力を要請したとも聞いております。水は地域住民のものであり、だれのものでもない。要は、地元の権益であり、利水する

秋を入善が占めており、入善の意思が決まると思っております。尚、この点については色々、各種団体並びに町民の皆様方と話し合つて、電力会社や知事も良く話し合いたいと思つております。又、舟見山発電等も研究すべきである。水資源調査研究所は実現いたします。通産省もやるので併行して実態をつかみたい。

② 北陸高速道路については、特殊な耕地を持つている地帯であり、全線高架方式を主張し、土盛方式は部落や地域のコミュニティの阻害にもなり、災害にも関係があるので、高架方式を強く要請しております。道路公団等が仕事を始めた時は、町の業者の為に良くなるように努力したい。

### 農業の安全使用 指導推進を図れ

金田利一議員

① 関電が知事に対し、朝日電電を変更、受本発電計画を申入れた石油ショック以来水力発電が見直され、早期着工が望まれている現在、朝日電電については入善町、黒部市は、生活用水、工業用水などに支障をきたし反対。この案に対する感懐は宇奈月町、入善町は特に反対しないが、黒部市は工場用水の吸上げ、農業用水等に波及するとして反対し、注目されている。町長の見解を問う。

② 我が町に於いては長期的展望に立脚し、生活工業用水、農業用水の利用状況など考へて調査予算を計上されたこと大変結構であり、現段階で地下水問題に対し、調査データは、どうなっているか伺いたい。

③ 最近消費サイトで、安全食品を求める声があり、農業に対し反省が強調されている。農林省も生鮮農産物農業安全使用に、予算を計上している。主に野菜団地に対し、農業の安全基準を農業改良普及員が指導にあたり、また病虫害防除員が農産物を分析することになっている。農産物の農業安全使用推進の叫ばれている折、町当局に於いては積極的に取り組み考えはないか。

町長 ① 知事や関電から何の話も聞いていない。黒部市も反対し

ているが主導権は入善にもあると思ふ。

② 地下水については、町独自で調査している。十一月から三月の六ヶ月間で、五カ所調査した。十二月が最高で、二月二十五日が最低であった。遠近の差に比して変動が多い。五十一年度に通産省が主体となって、入善で三カ所調査することになっているので、協力し調査を進めたい。

③ 農業使用量は一、〇五〇トンで低毒性である。六〇%の補助をうけて農協に、農業管理安全施設を設けており、指導にあたっては、農協及び普及所と協力して、万全な指導にあたりたい。

### 親Nメンの健康対策を構げよ

谷 雪枝 議員

① 全国的に児童生徒の体位が伸びておりますが運動能力・耐久力が不足しモヤシツ子、貧血児童が増えています。又、糖尿病・高血圧という成人病の児童も増えております。そういう児童の体力づくりや、親子づれ、家族がだれでも楽しめるレクリエーション活動等をどのように進められるのかお聞きしたい。

② 入善町はほ場整備事業によって県下一の農業の町となりましたが海岸密集地帯の計画路線は不完備である。生活用水、防火用水等は用水不足のためゴミがたまり部落の者が迷惑している。きれいな

町づくり、環境づくりに、取り残されている住民のため早急に完備してほしい。

③ 総合計画によりますと今年度建設された西中学校の落成後、東中学校を建設するとなっております。教育の均衡は最も大切なものであり東中学校の建設はぜひ必要と認めるが舟見中学校の問題もあつて如何様な考えか、又、駅前路線から八号線へ通する中央道路の建設を住民は希望しております。入善町のシンボル路線としての建設等、財政難の時期に二大事業についてはどのような構想をおもちか町長のお考えを聞きたい。

町長 ① 教育の基本は知育・徳育・体育である。毎日の家庭生活や良い環境の中で子供達を丈夫で健やかに育てるよう努力しなければならぬ。

② 入善町はほ場整備事業の完了を見、農業の町として一段と飛躍していくと思ふ。その反面、計画が充分でなかつたと思ふものに生活用水の不足、防火用水の不安等があります。これら水利の問題等は県・土地改良・町の三者で早急に解決したいと思ふ。又、市街地、密集地内の排水改修については逐次施行したい。川を汚さないことは家庭の衛生管理者である婦人会の方々にも格段の協力をお願いしたい。

③ 東中学校の建設には敷地の場所と財源の確保等の問題がありすが一番の難問は敷地の決定です。又、都市計画の中央通り線は市街



地の中心を通すため物件移転等があり、超過負担を伴うと予想され町財政を圧迫します。事業は国庫補助三分の二、町補助三分の一となつておりますが総合計画の中で五十三年度から一部物件移転に着手したいと思ふ。又市街地進入のため君島、們山寺線の新設を予定している。

教育長 ① 子ども達が健やかに育つためには遊び場、スポーツ施設の利用等があり、その指導体制の確立に努めております。今年度から半額国庫補助による婦人ボランティア活動を計画している。

現在結成、活動しているクラブやグループの育成、その指導者を養成したい。

関連質問・岩場議員  
ほ場整備事業が完了し、農業に

② ほ場整備の完了に伴い主要農道が整備補装され誠に喜ばしいが、交通規制の多い、町農道をさけた車両が我がもの顔で走っている。農道といえども交通事故発生が考えられますので標識等の設置・車両の規制等の考えはないか。

③ 山水すい明といわれた我が国は工業用水・人畜のし尿、合性洗剤等によって河川が汚染されている。それにより沿岸漁業の不振はご承知の事と思ふ。市街地の都市化、農村部の近代化設備等には指導監督、公益下水道の実施と、又進出するであろう企業についても住民が不利益にならないよう責任の所在を示していただきたい。

町長 ① 主任制度の目標は「調和のとれた学校運営」という見解で現に実施している。主任制度は従来から定めてあり県下の市町村において実施している。ただ手当を支給するところに中間管理職的な色彩が強いと言われるが、次代を担う児童生徒を教育する場の管理運営という事からも主任制度は好ましいと思ふ。

② 整備補装された農道は町、県道並みに交通量が増加し、交通標識等が必要となつた事は嬉しい反面、悩みであると思ふ。農道の舗装は県下一であると思ふ。また、農道といえども交通規制の伴うものは県公安委員会、交通課の権限であり充分相談の上考慮していきたい。事故発生時の懸念がある所については当局の方へ連絡を願いたい。

③ 生水を飲めるのは日本・アメ

### 主任制度をどのよりに考えているか

米島 一信 議員

① 文部省が三月一日から主任制度発足を指示したが日教組は主任手当等地方財政を圧迫するものだという見解です。要は教育内容の充実を目的としているので当局の見解をおたずねします。

リカだけである。河川の汚れは県の環境基準に照して危険なものではない。簡易な水洗便所、下水等に問題があると思うので行政指導をしていく。尚、健康センターに水質汚濁分析器を配置してあるが町の河川は環境基準の量をこすものはない。又、入善町の企業では立入検査をするような公害工場は一件もないと思っている。

### 海岸浸蝕や

### 塩害防止策を図れ

浜田 幸晴 議員

① 海岸浸蝕や塩害防止策として現在の難岸堤に併行して副堤工事が進められていますが、本工事は相当の年月を要するものと思われる。工事の促進についておたづねします。また塩害の防止策として防潮林に勝るものはないと思いますが、沿岸住民の願いでもある防潮林の設置・用地の買収等についてご意見を承りたい。また、横山・春日間の松林の災害復旧事業の完成を地元住民は一日も早く希望しております。いつ頃までに復元の完成を見る事が出来るのか明確なる町長の答弁をお聞きたい。

② 入善町の表支閘とも称すべき入善駅前から八号線へ通ずる道路はすでに限界に達していると思いがこの道路の拡巾整備又は、新設について町長のご意見をお聞きたい。

の促進に力を入れていかなければならないと思えます。塩害のため防潮林は必要でもあり用地買収については国、県とも相談して決定したい。

春日地先にある防潮林の半分は保安林の指定を受けているもの、後は民有地で、保安林の指定を受けているものは五十一年度保安林改良事業として全額国庫で施行すると林野庁の内示をもらっている。また、後の半分は三月に所有者の同意を得たので、これも全額国庫負担で実施の手続きをとる。

② 駅前通りと中町商店街を横につないだショッピング街にしたい。都市計画により交通安全対策を考えながら商店街の美化、駐車場を完備したい。五十三年から駅前通りについて考えていきたい。その前に君島、鶴山寺線によって東町の開発と駅前から八号線に通ずるバイパス線を考えている。

### 中小企業の

### 育成について問う

野島 正一 議員

① 日本の不況が低迷を続けている中で、特に中小企業への打撃が大きく、極度に達している。今日の不況は通常の不況対策では解消されない性格を持っている。国や県は中小企業に対し援助対策を講じているが、立ち直れるという状態ではない。もっと大きく資金の融資のわくを広げるといような制度を考えるなど、何らかの形で

すくい上げて行かなければならないと思うが町長の考えをお聞かせ願いたい。

② 財政の根本をなすのは税金である。給与所得や農業所得は掌握しやすいが、申告制度をとっているものの商業所得や出稼所得、漁業所得は把握しにくいように思われる。これらの課税の基礎となる所得をどのように把握しておられるかお伺いしたい。

田んぼの評価額は、今度の改正で七段階になったが、収穫量は最低、売買される田んぼの値は最低、にもかかわらず課税の対象になる評価額は最高であるということになると、これらの格付けについては疑問に思うがどうか。

町長 ① 政府の不況対策も今一步盛り上がり足りないように思う。補償協会の補償率を引き上げたり、利率を引き下げる等融資わくを広げてきているが問題は金融制度そのものではないと思う。小規模事業者対策に於いては他市町に比べ劣っていない。入善の町にある金融制度では限界があるので、国や県に対し資金融資制度の幅を大きく持たせるところに私達の目的と努力があるのではないかとと思う。

② 税金の把握というのにはむづかしい。土地価格表も改正になりませんが、一番良いところで二〇パーセント上げて二円七十九銭になるということ、そんなに高いものではない。舟見地区の場合は十七パーセントの反収が少ないのは、基



車が優先している黒部大橋

### 町長

給与所得はどうにもならないが、その他は親心をもって目を開ける道が開けられるということ、あまいだということはない。税務課長 魚津税務所管内では、一番税額が大きい。

### 黒部大橋に

### 歩道橋を

上島 藤吉 議員

① 圃場整備も完了に近い。残された古い幹線水路の改修、改良には積極的に取り組んでおられると思うが、町長の考えを承りたい。

② 北陸の大動脈である国道八号線の黒部大橋は、自動車専用となっている。人命尊重の見地から国は、例えばビルに非常用階段を設置する義務を負わせている。これらを考へる時、安全対策として歩道を併設するのは当然と考へるが町長の見解を承りたい。

町長 ① 今一番苦心しているもの、また非常に重要だとして強く県に交渉しているものには、幹線かんがい用水の再改修、農業サイドでやりました用排水と、生活用水、防火用水、雑用水等の連係が充分でないということ。それから一番大きな問題として黒東、黒西両方の用排水の改修があります。県は今年度から調査費をつけるというが、現在の時点では補正に待たれていて、当初では計上



されていない。県単は昨年度より四十パーセントダウンというきびしい県財政の現況であるので、県としては慎重に行動している。調査費をつけるということで努力を続けて参りたい。

② 建設省富山工事事務所へ陳情はしている。富山工事事務所ではこの種の子算に三億五千万余りみている。この子算で地下歩道の安全対策、高架橋、歩道橋等を考えているようであって、今黒部大橋に歩道橋を設置することになると、建設省から富山工事事務所へ配分されている予算とは別な形で獲得してこなければならぬ問題だ。高度な政治力と住民の皆様の方の結束を必要とするし、総需要抑制等で困難を要する問題だと思ふ。大きくは富山県として、或いは隣接市町としても共通な、広域的な問題として一段と努力を続けて行かなければならない。

入善高校の

定数増を図れ

石川昭男議員

① 四十八年度より農村総合整備モデル事業が実施されたが、計画によると五十一年度は最終年度になっている。五十一年度までに約五億円の事業費が見込まれているが、総事業費が約十四億円にスライドされている現在、最終年度を迎えながら三分の一強の実施率である。完了するまでの見通しをお聞かせ願いたい。

② 県道小指口芦崎線の整備が遅れているが、今後の見直しをお聞かせ願いたい。

③ 学校の統廃合をする場合、適正規模や教育環境、学級数の問題、通学区等を考慮してなされると思うがどうか。入善町の人口の八十パーセント弱が昭和生れで占めている。小、中学校の父兄もこの世代である。学校統廃合審議委員がこの世代から選ぶのが当然かと思うが考えをお聞かせ願いたい。又自由通学区の設定、或いは小、中学校に限らない通学区の変更等を考え合せて統廃合計画を樹てべきだと思ふがどうか。

④ 高校は今や義務教育と同様に考えられている。入善高校の一学年の定数は二百四名である。本町に於ける中学卒業生は四百七十一名であって、定数をはるかに上回っている。因みに他市町と比較してみると、泊高校は二百七十七名、朝日町の中学卒業生は二百七十五名です。桜井高校は二百八十七名、黒部市の中学卒業生は四百六十八名、定数に対する充足率は入善が一番低く四三・三パーセント、朝日は七八・九パーセント、黒部は六一・三パーセントである。本年の県立高校の入学率は七二パーセントと聞いている。入善高校の定数は三百四十名が適当だと思ふが、定数増に対しどのように対処して行くかお伺いしたい。

町長 ① 農村総合整備モデル事業は本来、本年をもって完了する予定だったが、昨年総需要の抑制に伴う一億の削減をみたことは遺憾である。その後三千万円ほどの復活はみている。農林省、県の理解が高く、五十一年に審議を願っております。今までも全国の最高配分をもらっています。尚且つこのあと補正で五千万円とりたいと考えている。今までもやったものは約三億、これからやろうとするものは約十億というところで五十四年度までに完了を見たいということになろうかと思ふ。

② 明年度の県単事業は四十パーセント減というきびしい中であるので獲得は非常に困難だと思ふ。貴重な敷地を空けたままになっているが、又、実現を見るように強く県に要望して参りたい。

③ 統廃合審議委員には、昭和生れの人でという約束ぐらいはしておくべきだと思ふ。通学区は弾力性をもって、統合した時点でケータイケースで、自由通学区でも住民の意思で選んでいただきたい。

④ 県は現在富山・高岡・魚津といったブロックの均衡ばかりをいっている。約六割近いものが入善高校以外を選ばなくてはならないことになっている。このことは生徒や父兄、時間的、経済的にも大変大きな負担になる。人口割で行くと入善高校の定数は二八二名とするべきでありこれが二学級増にもつながる。地元県議の皆様と共に強く県にはたらきかけて参りたい。

幼稚園を設置

する考えはないか

本田幸光議員

① 保育所はもと保育に欠ける児童を対象にしたもので、施設や教える内容からしても限界があると思ふ。県下において、幼稚園を設置していない市町は極めて少ない。幼稚園の設置についての考えをお聞きしたい。

② 本町において、公共住宅としては公営住宅、雇用促進住宅などがあります。何れも満員である。総合計画の中で住宅対策をどのように推進されるかお伺いしたい。

町長

① 本来は保育に欠けるものが保育所へ行くということになっているが、二才児、三才児、四才児と入所希望者全部をあづかっている現状で、学校教育法によります幼稚園の課程というものも、保育所内でこなすようにということをお願いしている。文部省の指導によることを厚生省が所管する保育所の中で取り入れて行くように進めている。小さい時からエリート意識を持たせようというのには好ましくない。また、建設費や管理費等についてもかなりの格差がある。このような考え方に立って、幼稚園のことは進めない考えでいる。

② 公営住宅そのものの対策、分譲地も近隣の町村より進んでいる。またこの上野の多いことは充分承知している。五十二年に十五戸、五十三年に十五戸、それぞれ二階建て一戸十三坪のものをお願いしている。昨年度は精力的に交渉を続けて参りましたが上下野の五十戸閉地は、複雑な問題があつて最終的には二人の方の同意が得られませんでした。これを確保している。本年は三十戸になるか四十戸になるかわからないが、内々交渉を続けている。明年度あたりには雇用促進住宅をとつてくる順序かと思つている。今後其順次を追って毎年計画を進めて参りたい。

高層建築になると日照、電波その他の公害が出てくるので、このような事を考慮の上場所の選定を行って欲しい。

町長 今の雇用促進住宅の場所は良すぎるくらいで、他町では町の中心地より離れている。これからは今のような場所を求めるのは困難だ



満員になった住宅

ろうと思う。少し距離をもつたところに出てざるを得ないだろうと思つている。

関連質問・五十里議員

保育所の退所時間が早い。今少し時間の延長等の措置は出来ないか。

町長

主旨は良くわかっている。二交替にでもするような措置を厚生省がとれば話は別ですが、これはあくまで子供をお持ちの親と、保育所をあずかります者との話合いにしている。

学校や保育所の遊具は安全か

の遊具は安全か

嶋田久之議員

① 地方交付税の引き上げ等を主張する地方自治体と、起債や借金で対策すべきだとする大蔵省当局の間で財政的論争が行われるのは必至であると識者は指摘している。このような事態の中で、年度当初の財政に支障はないか、公共事業の発注などの見直しはどうか等のをお伺いする。と同時に地方財政硬直化の最大要因だといわれている人件費の節減に関連し、定年制の導入は今や天の声であると財政局財政課長が指摘しているが、このことについて町長の見解を承りたい。

② 県は生活用水、工業用水の需要増に対処して、地下水適正化条例の制定を提案している。河川水をダム建設などにより、貯蔵、利

用する水源開発は限界にきていると思う。生活用水、工業用水の他に農業用水に対しても大きな制約を加えようとしている。入善町では、今年度地下水調査が実施されることになったが、この調査は少なくとも数年間続けなければ本当の意味の調査が出来ないと思うがどうか。また、この調査がどのように地下水の貯蔵に、地下水の涵養に生かされるか、更に地下水を涵養する意図があるかどうかについてお伺いしたい。



③ 学校及び保育所の遊具が安全であるかどうかということの総点検をする必要があると思うがどうか。又、学校に於ける事故の取り扱いは、教育委員会と学校との間

でどのような関連で処理されているかお伺いしたい。

④ 富山県に於いては、農民総ぐるみの協力によって越前早生、コシヒカリの銘柄米の栽培技術が定着しつつある。子約限数量が昨年より七千九百トン減少しているがこの増量に全力を上げていたいただきたい。入善にあった食糧事務所が廃止されたが、入善町の米の生産量、貯米の可能性等を勘案して今一度入善に食糧事務所をという運動を展開すべきだと思うが、見解を承りたい。

⑤ 飯野小学校の現在位置は、農協支所に隣接していることや、今年中には農村環境改善センターも開設される。児童生徒が勉学の実を上げるには、少し環境が悪くなったと思うがどうか。当局は長期の展望に立って、先づ小摺戸新屋小学校の統合を計画されるようですけれども、引き続き飯野校下、青木校下、一部小摺戸校下を含めた統合小学校を計画されたらどうかと思うがご見解を承りたい。

町長

① 景気回復の兆しが見えてきている時、このような国会審議は遺憾である。政府は暫定予算を組む作業に入ったようですが、そのようになるとそれだけ景気回復も遅れるし、公共事業の発注も遅れてくる。人件費の支出と人員の配置は、極めて適正にやっています。今定年制を引かなくても、慣行として、きちっとこの順位は守られている。

② かんがい用水に課税をするという、中央の動きがあるということですが、これには課税させられるものでもない、絶対させてはいけない。事実出来るものではないと思つている。通産局から観測井戸を設けるという内示があった。黒部川扇状地地域社会研究所が発足したが、今後順位を追いながら観測を続けて参りたい。

地下水の涵養策としては、床止工や逆井工という方法が考えられている。

③ 児童生徒の安全については強く言っているが、万一過失傷害があった時には学校安全保健法というものもあり、治療費の全額をもって措置することになっている。遊具の点検に万全を期するように、充分気をつけるよう通達しておく。

④ 今の食糧制度に誤りがあると思つ。銘柄米には政府はもつと格差金というものを大きく見るべきだと思つ。食糧事務所魚津出張所管内で全検査量の四十五パーセントは入善でやっている。誘致は困難だと思つが、入善へ出張所を持つてくるという意見は成り立つと思つ。

⑤ 飯野小学校の環境は悪くなったと思つているが、学校のある位置としては悪くはない。老朽したところや不備な面は逐次改善して行きたい。学校統合については、これはあくまで住民の意思を尊重して決める問題であらうと思つている。

生産調整や稲作転換等をどのように指導して行くのか

福澤万次議員

① 昭和五十一年度予算が計上されたが、固定資産税の評価替えによるアップや町民税均等割の増、保育料のアップ、その他使用料等の増額で町民の負担も大きくなつている。又、町債も大巾に増加している。景気回復の兆しがあるとはいふものの、税収の増加も期待出来ず、先々の公債費が重荷になるのではないかと懸念されるし、補助金についても今一度洗い直す必要があると思つが町長の考えをお聞かせ願いたい。

② 国内の食糧自給率は極めて低い。入善町の農業は稲作が主体であるが、生産調整や休耕、稲作転換等が打ち出され、耕作者は一抹の不安を感じている。昨年は大豊作で政府売渡限度数量を上廻り、三十五万俵の収穫を上げた。超過米の全量を政府に買い上げるよう要望したが、僅か九百十六俵の追加を見ただけだった。五十一年度産政府子約売渡米が昨年に比べ約八千四百俵減となっている。昨年を大巾に上廻る超過米の出るのが予想される現状では、積極的な稲作転換が必要かと思われるが、ご見解を承りたい。

③ 農家一戸当りの所得の七十八パーセントは農外収入である。景気が低迷が続いている中で、雇用不安等が募つてきている。これら

の点につき企業側との話し合いが必要だと思いが、お考えをお聞かせ願いたい。高、福島地区への工場誘致は何時になるか見通しをお聞かせ願いたい。

① 政府は起債を誘発して、公共事業を受け入れることを進めている。今後の町財政に占める公債費の比重を頭置きしながら、仕事を進めて行かねばならないが、公債費の赤信号だといわれる二十パーセントという比率になることは絶対にない。これを越さないことを絶対条件に、健全財政のわくの中で積極的に仕事を進めて参りたい。補助金に対しては、きびしく査定を行つたし、無駄なものはないと確信している。

② 入善の米は評判が良く、現実には於て余るといふことはあり得ない。市場と商品価値、入善米という地位を保つて行かなければならないと思つている。稲作転換目標面積は七三・四ヘクタールであり、いささかの無理もないので、ご安心いただきたい。経営の効率化を図つて貰うための、中核農家指導型の定着を目指して、農工一体の推進を目標とする方針で参りたい。

③ 農林省の農工一体化の中での承認をいただきますために、今事務的な作業を町と県が進めている。この作業が完成する次第、金沢農政局に持つて行きます。一日も早く農地転用の許可をいただき、続いて登記の手続きが済み次第、工事に着手するといつている。

工場誘致については、現在事務的な手続き中だと言われたが、見直しをお聞かせ願いたい。全国的に過剰米の問題がある中で、割当減になるという不安もある。また、雇用不安についての考えも承りたい。

農林省でやる仕事を、町で勝手に日を決めたのでは変な話になるので、とにかく一日も早くやりたいと思つている。過剰米の対策は農協と一体となって最善を尽くして参りたい。雇用の問題については多少やむを得ない面もあるが、町民の労働力は高く評価されているし、これが農工一体につながっている。

福祉環境の充実・防災対策の強化について質す

上田 義信 議員

① 身心障害者に対しては細心の配慮をなされておりますが、歩行困難な障害者、或いは老人の活動範囲を広めるために、健康センター、駅等の公共施設の玄関や便所を改造するべきだと考えるが、ご見解を承りたい。

② 圃場整備事業等で用水が移動したり、窪川になったりして密集地や村落に水が流れなくなった箇所が随所に見られる。市街地の排水の改良工事も良いが、一カ月以上も期間がかかるようでは、火

災に対して非常に不用心である。これらについてのお考えをお聞かせ願いたい。

③ 一月十九日から二十四日にかけて降り続いた雪は、河川の氾濫や、いっ水をもたらした。幸町付近に於いては、青島用水の氾濫により相当の床下床土浸水の被害を被つた。青島用水の再度改修に取り掛つていただきたいと思つて居るか。

① 公共建物等の出入り口をスロープ化して行くという配慮は、これからはするべきだと思つ。現在の建物にこれを付け加えるには、少し困難もあると思つ。が施設として改良出来ないものは、人の配置と人間の気配りで補つて、身障者をいたわつて行かなければなら



海蝕の激しい入善海岸

ないと思つている。

② どの町よりも先駆けて配備したタンク車は、断水時期には威力を発揮して、初期消防に成功している。市街地には貯水槽が設置してあるが、ヘドロが溜り取水出来ない場合も出てくると思つし、密集地に於いてはさく井による消火栓をつけることも考えなければならぬ時代に来て居ると思つ。これはあくまで研究課題として考えて行きたい。

③ 一月に襲いました猛烈低気圧は、三八豪雪にまでいたらなかったものの、床下床土浸水等相当の被害を受けた。青島用水の改修については土地改良区と相談をしているが、今のところ水門を撤去しようということになっている。水門の撤去によつて治水出来なくなる用水は別に考えようという事で作業を進めている。

白砂青松の浜辺

をとりもどせるか

岩場 俊 議員

① 本町の海岸は全国有数の浸蝕海岸である。総合計画によれば、町土の保全は町づくりの基礎的要件である。全海岸に亘り白砂青松をとりもどし……とあるが本町に白砂青松の浜辺が取り戻せるかどうか、マスタープラン等があればお聞かせ願いたい。先に町長は三漁協の合併は困難だと述べられている。現在のような海岸保全では漁業後継者の育成すら心配される。

沿岸漁業に従事されている方は少ないが、昨年に比較して十五パーセント増の漁獲高をみているの

る。沿岸漁業対策についての考えを承りたい。

② 地方財政計画そのものは、単なる応急処置に止まり、地方交付税率の引き上げをはじめとする、自主財源確保のための技術的な打開策はとられていない。今年度の予算配分、税配分はこの後も引き継がれるという確約はない。非常に不安定であり、歳入に欠陥を生じないか懸念されるし、一般財源に占める人件費の割合をどのように考へておられるかお聞かせ願いたい。

③ 町長は、時代の要請である住民情報システム化への研鑽云々と言っておられるが、具体的な説明を願いたい。

① 且つての浜辺が戻ってくることを願つておりますが、厳しい現在の事情を見逃すわけにはいかないと思つ。海岸保全については、五十一年度に予定しているものに、災害を含めて吉原、春日地先に離岸堤二基、芦崎に五基、吉原、春日、古黒部に副堤を五五〇メートルを築造する。漁港に於いては東防波堤を十六・五メートル延長する。或いは浸透をするといった措置を考へている。この後離岸堤を十基、副堤を二、二五〇メートル、斜堤二、二八〇メートルと防潮林の三千メートルを五ヶ年計画の中で取り上げて参りたい。

で、かなりの収入になっていると考えている。

② 国は起債を誘発する方法で事業を進めており、景気を刺激して不況を脱出しようとしているからには、明年は地方交付税の税率を四十パーセントぐらいにする決意はあるものだと感じている。行政区分を明確にして財源を引当てて貰いたいと思う。

③ 住民情報システムの時代といわれているように、住民の意見や要望を早く把握する。中央、地方の情報を早くキャッチするといったことで、職員研修を大いに進めて参りたい。

# 目・耳・声

## 議会傍聴雑感

▼ 新年度における市政の指針と予算を審議する三月定例議会一般質問を傍聴して町当局と議員各位が活発な論議を展開し共感を得た。地方議会は議会制民主政治の原点であり、地方自治の確立は申すまでもなく財政健全化に立脚し、景気・物価・土地・住宅・社会保障の拡充・環境保全対策など施策を構じ住民の生活安定向上など因ることが肝要であります。現在我が国の経済は戦後最大の不況を呈し、国税三税の落ち込みに伴い地方財政は危機に直面し本格的な対策が急務とされています。質問の内容も例外でなく財政を主軸に農業、

# 第二十一回 入善町議会臨時会 (昭和五十一年四月十四日)

## (町長提案)

- 議案第三十三号昭和五十一年度入善町一般会計補正予算(第一号) 消液工及び進港災害復旧費として七千一百二十七万円を追加し、予算総額三十一億九千八百三十七万円となる。
- 議案第三十四号入善町営運搬車使用に関する条例制定について 新川広域圏組合東部産場が近く完成するに伴ない運搬車の使用に関

- する事項を条例化(使用料基本料金入善町一円一回につき三、八〇〇円)
- 議案第三十五号工事請負契約について(入善町南部コミニテイ公民館新築工事) 契約金額 一億六千万円
- 契約の相手方、共同建設株式会社 魚津出張所取締役所長 立川正夫 工期 昭和五十一年九月二十五日
- 諮問第一号人権擁護委員の推薦

につき意見を求めることについて現在人権擁護委員である本多清隆氏が四月三十日をもって任期満了となるので後任候補者として理解と経験豊かな本多清隆氏を再び推薦することに決しました。

午後は米島議員、浜田議員と審議はまだ続きそうでしたが時間都合で三時頃心を残しながら議場を後にしました。私達町民の事がこうして地区選出の議員を通して真剣に討議され、それが町政に反映し豊かな町づくりを、ひいては町民ひとりひとりの幸にも結びつく事であり私達婦人も、ともすれば自己中心の狭い考え方になりがちですが、もっと視野を広くし町政に深い関心を持たなくては……等と始めての町議会傍聴に緊張さめやらぬまま雨の中を帰途につきました。

地下水問題、福祉、防災、海岸保全などに焦点が合わされ町長も財源、行政執行にあたり強い決意の答弁があり印象的でありました。反面正午の休憩をめぐり一部の議員から痛烈なヤジがとび残念であり二度とないことを肝に命じてほしい。

最後に町当局と議会に対し極めて常識的なことでありますが、心身ともに健康にとめることが大切であります。健康なくしては、いかにすぐれた逸材も、これを發揮することが出来ず、あた埋れ木に終るでありましょう。人生は長いマラソンのようなものであります。たえず健康に留意し、身体

を鍛え、節度ある生活し、強い心身の持ち主となつて、現実の町政を日々研鑽に努め、極力目標を一步後退、二歩前進の熱意で根気よく鋭意諸問題と取り組み、全力を傾注してほしいと思います。

三月十二日私達丹見婦人会員二十二名は入善町議会傍聴に参加しました。役場四階の議場はさすがに町政の中心であり重要な問題を審議するにふさわしい立派なもので、傍聴席に着き正面を見守るうち、十時過ぎから議長さんの指名で各議員さんの活発な発言と町長さんや町当局約二十名の方の適切な答弁が進められました。まず小林議員の昭和五十一年度予算についての質問に町長は健全財政を力強く述べられ積極性で行動力の



人、榎本町長の一面を見た思いでした。次に前田議員、金田議員と質疑



本号は、三月町議会の内容を、お届けします。今回、多数の方々から町議会傍聴の様子を、ご寄稿頂きましたが、紙面の都合で全部掲載出来なかつたことを、おわびいたします。読後のご感想、ご意見がございましたら、ぜひお寄せください。